

第4章・ゆとり教育世代の意欲喚起術

あつし塾長の 子のやる気 親の気づき

60

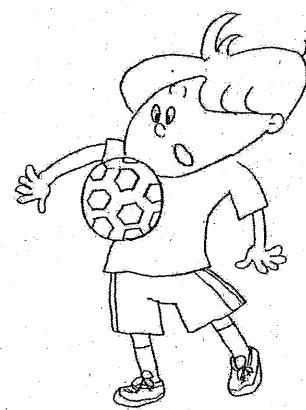
例年6月の第1週に高
総体、第3週に中総体
が行われます。今年も
青森県南地方の中総体
まで1週間となりまし
た。日も長くなり、子
どもたちは汗と泥にま
みれ、疲れもピークの
はずです。

やり抜く力

たら頭が痛い、でも塾には行きたいと言いました。明日は練習試合なので大事をとって休ませ、試合に専念させたいのですが…」と先日、中3男子のお母様から電話がありました。私は「教室ではすぐ頑張っていますよ。勉強も部活も負けたくないのですね」と塾での様子を伝えました。結局、この男子は数日離れた自宅から自転車でいつものように

教育

- 4



by yorike

長

子どもたち一人一人の燃える目標は異なります。その目標を見つけて、適度な負荷が掛かる「締め切り」を意識できたとき、子どもたちの努力は持続します。志学塾では一人一人の「やる気」を伸ばしたいと考えています。

燃える目標と締め切りを

自律的な心の満足必要

確かに「無理をせずにかわいそうだ」という子育てもあります。しかし、子どもの勉強と部活は、どちらかではない、どちらも頑張る立場に立たない

臨んできましたが、成績は改善されず…」とぼそぼそと話しました。私は「学年末テストの目標順位を決め、達成できたら高3の4月から部活に復帰。高3体までは勉強と部活の両立！でどうかな？」と提案しました。

生に、変わったなと
か、頑張っているなど
感心されます」と。お
互いに笑みがこぼれま
した。「高総体の次の
目標は?」と聞くと、
彼は背筋を伸ばし「は
い、早大合格です!」
と。

年が明けて4月、彼は約束通りサッカーチームに復帰しました。日に日に引き締まる体つき。高総体当日、私は応援に行きました。しかし、チークが2試合、かし、チームが勝ち進む中、3試合とも勝ち進む中、彼がピッチに立つことはありませんでした。彼がピッチに立つことはあります。なぜなら、彼は塾の自習室で、別人のように集中して勉強したり、シールを貼つたり、もうつたりすると、認められたという喜びを感じ“やる気”を見せてくれます。しかし、どんなに褒められても、勉強とは直接関係がないことばかりだと、その状態は長くは続きません。どうしても“やせん。どうしても”やる気には「自分は自律的にやっていけるの」と思ってもらいたいのです。

NPO ワークは「海・川」を、知事会議に参加できる。いふ。聞き書きが、林業、き職人、など自然についている。

「聞き書き甲子園」